

鳳寿園だより



盆踊り



お盆を間近に控えた 8 月 4 日の追弔法要の後、亡くなった方々を慰霊するための盆踊りを催しました。

わかば乳児保育所の園児も参加し、元気な園児達の踊る姿にご利用者も目を細め、にこにこ笑いながら手を叩き、身振り手振りをして楽しまれました。また、会場にはかき氷や綿菓子の屋台も用意し、園児たちはもちろんご利用者もかき氷や大きな綿菓子を一杯に頬張り嬉しそうでした。中でも、園児達には保育所の先生方の「くじ」が特に人気で、景品のお面や空気で膨らませたオモチャなどを当て、大はしゃぎです。

園の出し物では、職員が「東京音頭」を披露しました。この日のために練習を重ねた踊りの成果はいかがだったでしょうか。演目の最後の「炭坑節」は会場の方々も参加され、大きな輪になって踊りました。聞きなれた炭坑節に自然と身体が動き、笑顔になるご利用者の姿がとても印象的でした。

後日、盆踊りに参加された特養のご利用者に記念品として職員が色付けした靴下をプレゼントいたしました。

平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害に係る 応援資金のお礼とご報告

平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を祈念いたします。

吉富鳳寿園では、福岡県老人福祉施設協議会の呼びかけに応じ、福岡県社会福祉協議会が被災地に設置した災害ボランティアセンターに主任看護師を派遣するとともに、福岡県老人福祉施設協議会を通じ、応援資金をお送りしました。

つきましては、今後ともご理解ご協力をお願いいたしますとともに、これまでのお礼とお預かりしました応援資金のご報告をさせていただきます。

応援資金 100,205 円 (募集期間 平成 29 年 8 月 4 日～8 月 31 日)

七夕ゼリーの作り方

7 月 7 日の七夕は、天の川を挟んで夜空に輝く彦星と織姫が、年に一回、天の川を渡って会うという物語です。当園でも利用者職員で七夕飾りをしました。園内に飾った竹笹に皆さんの願いを書いた短冊を下げました。ご家庭でも子どもさんと一緒にされた方もおいでるのではないのでしょうか。

当園の栄養士が七夕ゼリーの作り方を教えてくれました。おやつや食後のデザートにぴったりですので、ぜひご家庭でいかがでしょうか。

作り方 (5 人分)

A	オレンジジュース	500ml
	アガー	15g (もしくは寒天 8g)
	砂糖	30g
B	リンゴジュース	500ml
	アガー	15g (もしくは寒天 8g)
	砂糖	30g

- ① A を鍋に入れて混ぜ合わせる。
- ② ① を火にかけて、沸騰したら型に流し込む。
- ③ 粗熱がとれたら、冷蔵庫で固める。
- ④ B を A と同様に沸騰させ、A の上に流して冷蔵庫で固める。
- ⑤ 完成です！

2 層になっており、1 口で
ふたつの味が楽しめます♪

当園のさらに詳しい情報はこちら！

社会福祉法人 緑風会 公式ホームページ <http://ryokuhu-k.jp/>
ご意見等ございましたら、ホームページの"お問い合わせ"からお申し付けください。





小島社中



7月29日は小島社中の皆さんが来園され、ご利用者に踊りや演奏、唄、マジックなどを披露してくださいました。

綺麗な歌声や迫力のある踊りを見て、ご利用者が演者へ握手を求めと大賑わいでした。中でもご利用者の上着を借りてのマジックは、皆さんステージに釘付けです。見事に成功し、大きな拍手が起こりました。最後は参加者全員で「ソーラン節」を踊りました。歌に合わせてめいっぱい踊られるご利用者に職員の方がハラハラする場面もありましたが、一緒に踊るうちにご利用者も職員も自然と笑顔になりました。

小島社中の皆様、あっという間の楽しい時間をありがとうございました。皆様のまたのご来園を心よりお待ちしております。



吉富町 敬老会



9月15日、吉富町フォーユー会館にて敬老の祝典が催されました。

吉富鳳寿園に入所されている川野トシ子様も100歳のお祝いをしていただきました。きっと100年の人生には様々な出来事があったでしょうが、今はご家族や地域の方々に見守られ穏やかな日々を過ごされているようです。

これからも良き人生をお過ごしください。そして、私ども職員もそのお手伝いをさせていただければ幸いです。

ご家族よりお言葉をいただきました。

このたびは、母の100歳のお祝いをしていただき、誠にありがとうございます。吉富町の皆様、吉富鳳寿園の職員の皆様には大変感謝しております。

皆様からの温かいお言葉を励みに、母にはますます健康で長生きしてもらいたいと思います。



追弔法要



8月4日、追弔法要を執り行いました。吉富鳳寿園で過ごされた物故者との生前の思い出を懐かしく偲び、物故者に喜んでもらうことを目的として毎年行っております。

たくさんの花を飾った祭壇には、皆さんが園で生活をされていた時の写真を飾りました。祭壇のにこやかに笑った姿の写真を前にして、ご利用者も職員も懐かしみ、心安らかに皆さんが過ごされていることを願いました。明蓮寺のご住職の読経の中、ひとつ、またひとつ浮かんでくる思い出を胸にお焼香を行いました。

追弔法要を通じて、私達は故人を偲ぶとともに生命の尊さを感じました。また、ご出席いただきましたご家族の皆様、お忙しいところ誠にありがとうございました。

